

みずひき なに 水引って何？

かみ 紙をくるくるとよって、ひも じょう 状にしたもの（紙 じょう 繕り）で、
しゅうぎぶくろ ぶしゅうぎぶくろ ご祝儀袋 や不祝儀袋 にかざ ひも についている飾り紐のことです。

みずひき どうして「水引」っていうの？

こよ もと じょうたい もど 紙繕りが元の状態に戻らないように、みず ひ 水のりを引いて、かわ 乾かして
かた つく 固めて作ることから、「みずひき 水引」という名前がつけました。

ゆらい 由来は？

ちゅうごく ゆにゅうひん はこ こうはく なわ しば 中国からの輸入品の箱に紅白の縄が縛りつけてあった。
ほか しな く べつ ほかに 日本 じん 人がこの縄を ぞうとうよう しょう 贈答用に使用する
しゅうかん かん おく もの こうはく なわ 習慣と勘ちがいして、贈り物には、紅白の縄をつけるようにな
った。むろまちじだい あさなわ みずひきひも った。室町時代に麻縄から水引紐になったそうです。
むろまちじだい はじ ふうしゅう えど じだい る ー る 室町時代に始まった風習で、江戸時代にルールができたといひます。
みずひき あ ふういん い み まよ い み 水引には、まだ開けていないという封印の意味や魔除けの意味と、
ひと ひと むす つ い み みずひきむす ひ ひ 人と人を結び付けるという意味があつて、水引結びは引けば引くほ
ど つよ むす おお 強く結ばれるものが多い。